

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-226417

(P2004-226417A)

(43) 公開日 平成16年8月12日(2004.8.12)

(51) Int. Cl.⁷

G04B 19/04

F I

G04B 19/04

Z

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 2 書面 公開請求 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2004-112591 (P2004-112591)

(22) 出願日 平成16年2月24日 (2004.2.24)

(71) 出願人 504124048

服部 泰久

千葉県八千代市大和田新田 1 5 高津団地 1
- 3 - 304

(72) 発明者 服部 泰久

千葉県八千代市大和田新田新田 1 5 高津団
地 1 - 3 - 304

(54) 【発明の名称】 時計の針の長さ と 針の色

(57) 【要約】

〔目的〕 この発明は、近視・遠視等目の見えにくい人が時計の時刻をわかりやすく、見やすくする為のものである。

〔構成〕

時計の針の長さを時針を一番長くし、秒針を一番短くする、分針は時針よりも短くする。又時針と分針を色分けする事により鮮明に時と分の区別をする

〔選択図〕 図 1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

時計の秒針 C・分針 B・時針 A の長さを、秒針 C よりも分針 B を、分針 B よりも時針 A を長くした針。時針が一番長く、秒針が一番短く、分針が時針よりも短い針。

【請求項 2】

時針 A と分針 B の針の色を違う色にする。秒針 C も針 A・B と違う色にする。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

この発明は、時針を一番長くする事に依り、近眼等目の見えにくい人でも現在何時であるかを適切に、わかりやすく表示するものである。従来時計の時針は最も短く何時であるかを知るのに不便であった。

10

又時針と分針を色分けすることにより、時刻を鮮明に見わかる事が出来る。従来時計、分針が同じ色であると、両針を見間違えやすく、又秒針が一番長いと時針、分針が見づらかった。

より時計を見やすくする為に、腕時計の時針口には金色など分針 E には銀色などの色に、秒針 F には白色などにすると効果的である。掛時計等には、遠くから見えやすく、子供にもわかりやすいように、時針 G には青色などを、分針 H には赤色などを、秒針 I には黄色などにすると良い。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明腕時計の時針、分針、秒針

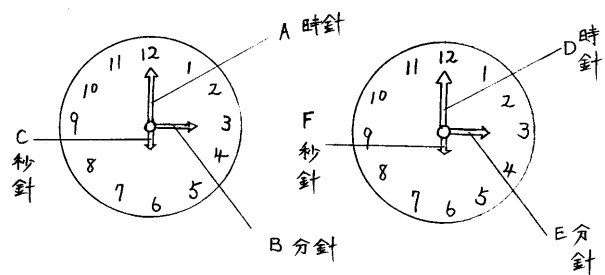
20

【図 2】本発明掛時計の時針、分針、秒針

【符号の説明】

A 時針、 B 分針、 C 秒針 D ~ I 色違い

【図 1】



【図 2】

